

V 小学校英語指導者資格

1. 聖学院大学人文学部欧米文化学科において、小学校英語の指導者の育成を目的として、小学校英語指導者資格取得が可能である。
2. 小学校英語教育においては、現在のところ法に基づく教員免許制度はない。小学校英語指導者資格は、特定非営利活動法人小学校英語指導者認定協議会（以下、「J-SHINE」と称する）が小学校英語活動・英語教育への支援体制を作り上げることを目的として設立した資格認定制度である。
3. 聖学院大学は J-SHINE の登録団体として認定されており、所定の科目ならびに単位数を履修し、資格申請の推薦基準を満たしている者は、小学校英語指導者の資格認定の推薦を受けることができる。
4. 小学校英語指導資格取得に必要な科目（別表）は、欧米文化学科専門科目群に属しており、卒業要件単位数として数えられるものである。欧米文化学科以外の学生が履修した場合は、自由選択科目として数えられる。
5. 本資格取得のための科目履修は1年次から可能である。履修を希望する学生は、「児童英語教育ガイドンス」に出席して指導を受けることを必要とする。
 - 5-1. 履修における条件は設けていないが、資格申請には TOEFL-ITP、TOEIC-IP350点以上が条件であるので、履修開始時に上記の点数を取得していることが望ましい。
 - 5-2. 2、3年次に編入してくる学生については、編入希望時に読み換え科目の検討も含めて個々の個別指導が必要である。
6. 取得できる資格の種類は以下の通りである。
 - 6-1. 「小学校英語指導者」資格（以下、正資格と呼ぶ）
本資格は、小学校での英語活動・英語教育を行う上で、必要な知識と技能を有し、小学校英語指導者として十分な能力を有すると J-SHINE が認めたものである。
 - 6-2. 「小学校英語準認定指導者」資格（以下、準資格と呼ぶ）
この資格は、上記1の資格を付与するには指導経験時間が不足しているが、指導者としての知識などについて一定の技能と知識を有していると認定するものである。この資格を得た後、その指導者の指導時間が50時間を越えたと登録団体が認めた段階で、「小学校英語指導者」の正資格に書き換える。
7. 登録団体として資格認定の推薦をするためには、4.の必要科目の14単位を修得することの他に、次の2点の基準を満たしていなければならない。
 - 7-1. 指導時間50時間以上（50時間未満の場合は準資格として推薦する）
 - 7-2. 英語力の目安は英語で授業が行えることとする。
8. 正資格認定に必要な50時間の指導経験については、J-SHINEの「小学校英語指導者資格認定制度規約」を参照のこと。

表 小学校英語指導者養成資格 カリキュラム表

| 授業科目の名称 | 単位 | | 開講期 | | 対象学年 | 備考 |
|---------------------|----|----|-----|-----|------|-----------------------------|
| | 必須 | 選択 | 春学期 | 秋学期 | | |
| 児童英語教育(理論) | 2 | | | ○ | 1～ | 児童英語教育科目を1科目以上修得済みのこと 注1 |
| 児童英語教育(カリキュラム・デザイン) | 2 | | ○ | | 2～ | |
| 児童英語教育(ワークショップA) | 4 | | | ◎ | 2～ | |
| 児童英語教育(ワークショップB) | 4 | | ◎ | | 2～ | |
| 児童英語教育(インターンシップⅠ) | 2 | | | 集中 | 2～ | |
| 児童英語教育(インターンシップⅡ) | 2 | 2 | | 集中 | 2～ | |
| 必修単位数合計 | 14 | | | | | |

注1 この科目は、正資格・準資格の取得においては必須ではないが、この科目内での指導時間を、正資格の要件である指導時間50時間のうちに含めることができる。